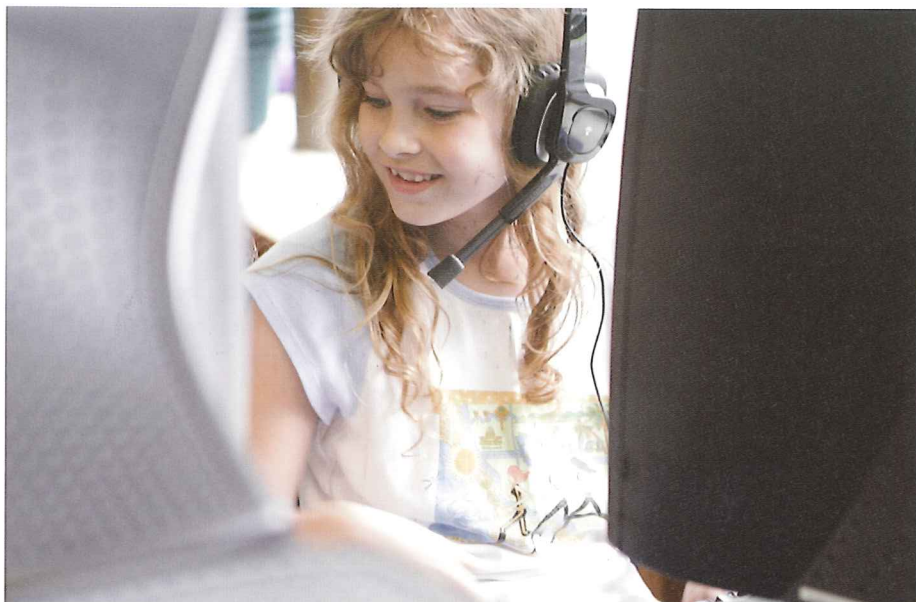


## IBMリーディング・コンパニオン ～音声認識技術により子どもから成人まで 幅広い世代の識字能力を向上



生徒たちはリーディング・コンパニオンの仮想図書館の本を音読し、音声によるフィードバックを対話式ソフトウェアから受け取ります。

「素晴らしい発音です！」何と心地よい言葉でしょうか。IBMのリーディング・コンパニオン・プログラムは、生徒が仮想図書館の本を音読した後、すぐにこのようなメッセージを返します。音声によるフィードバックは、IBMの研究部門が開発した画期的な対話式ソフトウェア・アプリケーションにより可能になりました。

2006年、IBMが米国、カナダ、その他の国の100を超える学校や非営利組織を助成することにより、この画期的なソフトウェア・アプリケーションは、[www.readingcompanion.org](http://www.readingcompanion.org)から自由にアクセスできるようになりました。

### 機能と世界中での利用

リーディング・コンパニオンの利用方法はシンプルで効果的です。訓練を受ける生徒は、コンピューターに接続されたヘッドセット・マイクロホンを着用します。そして、仮想図書館から本を選んで、フレーズやセンテンスを音読します。

リーディング・コンパニオン・ソフトウェアは、それを「聞いて」発音と正確さについてすぐに音声でフィードバックを返します。正確に読んだ生徒には、「コンパニオン・チューター」が褒め言葉を返し、一方、うまく読め

「子どもや大人が読み方を学習する際に大切な鍵となるのは、学習方法に関わらず「練習」です。リーディング・コンパニオンは、生徒に個人別のフィードバックや繰り返し指導を提供することで、読み方のスキルを向上させる強力な機能を備えています。しかも、Web経由で24時間365日利用できます。

*Robin Willner*

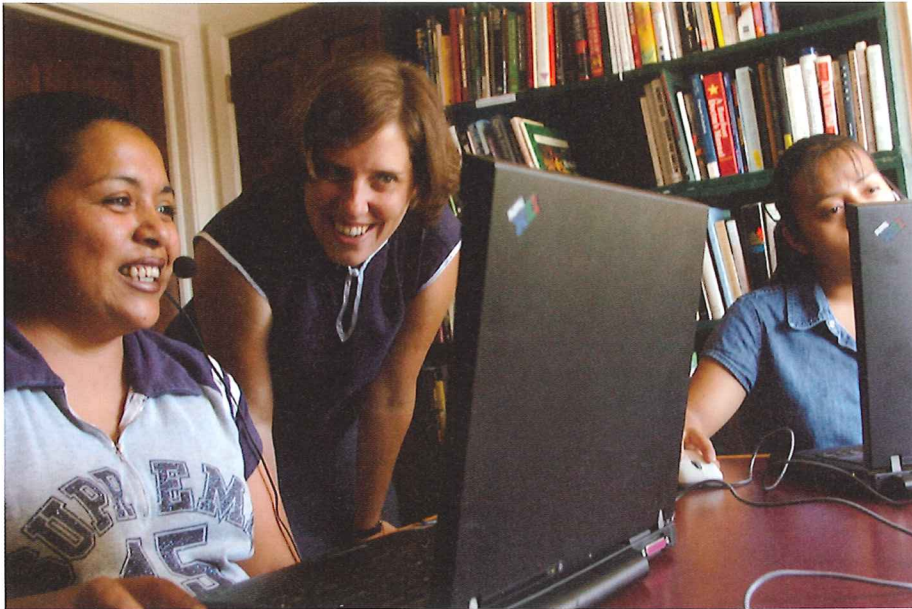
IBM コーポレート・シチズンシップ & コーポレート・アフェアーズ、グローバル・コミュニティ・イニシアチブ担当  
バイス・プレジデント

なかった生徒は、もう一度やってみるよう優しく促したり、単語の正しい発音の手本を示したりします。

### 24時間365日利用可能

リーディング・コンパニオンはWebから利用できるため、生徒は自宅、学校、公共施設などからアクセスでき、また、前回中断した個所から学習を続けることができます。その上、リーディング・コンパニオンは、個々の生徒の進捗に関する評価レポートをインストラクターや教師に提供します。

IBM研究部門の適応学習マネージャーであるJennifer Lailは、「リーディング・



リーディング・コンパニオンは Web 経由で利用できるため、識字能力を高める必要のある子どもや大人が、いつでもどこからでも継続的にアクセスできます。

コンパニオンは『ソフトウェア』の優れた例であるだけでなく、『イノベーション』を実現するものです。音声認識技術とWeb技術を初めて組み合わせた、「Webでの高速かつ高精度な双方向の音声認識」というこのモデルを適用できる機会は他にも数多くあると期待しています。」と述べています。

このテクノロジーを独自に評価した結果は、このソフトウェアを使用した子どもの単語の認識力と理解力が高らかに高いことを示しています。大人にとっては、このソフトウェアは読み方のスキル向上だけでなく、英語の発音の改善にも役立ちました。



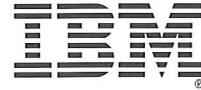
IBMは、世界各地でリーディング・コンパニオンを助成しています。

### 既存のカリキュラムの補完

クィーンズボロー・コミュニティー・カレッジ（ニューヨーク市）成人識字教育コーディネーターのKitty Bateman氏は「この対話ツールは、私たちのクラスにとって非常に大きな財産です。今、多くの大人たちが識字能力を身に付けようとしています。リーディング・コンパニオンはそのような人たちに非常に役立つ上に、我々の既存のプログラムにも組み込みやすいものです。」と述べています。

JFK Magnet School（ニューヨーク州ポート・チェスター）のLouis Cuglietto校長にとって、リーディング・コンパニオンは教師と生徒の大きな財産です。同校長は次のように述べています。「2年生になって、正確な読み方と発音を教えてくれる音声認識ソフトウェアを使用している姿を想像してください。リーディング・コンパニオンは英語の識字カリキュラムを補完する、学生にとって楽しく学べ、教師にとっては斬新な教材です。」

日本IBMコーポレート・シチズンシップ&コーポレート・アフェアーズ（社会貢献）の詳細は[www.ibm.com/jp/company/society](http://www.ibm.com/jp/company/society)をご覧ください。



© Copyright IBM Corporation 2007

Produced in the United States of America

09-07

All rights reserved

IBMおよびIBMロゴは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名、およびサービス名は各社の商標またはサービス・マークです。

当出版物におけるIBM製品またはサービスへの参照はIBMがそれらの製品またはサービスを事業展開しているすべての国で販売することを意味するものではありません。

当出版物には、IBM以外のインターネット・アドレスが含まれています。IBMは、それらのWebサイトにある情報に対して責任を負いません。